

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugiin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町453-7 TEL:059-373-3933/FAX:059-374-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室 TEL:03-3508-7128/

FAX:03-3508-3428

○25日。国会の開会が決定

明けまして、おめでとうございます。

今年も、大晦日の「祈り」から始まり、元旦早朝の初詣、各町自治会の「初より」や各種団体の新年会など、あわただしく過ぎ去ったお正月でした。国の政治が、国民の期待に充分応えるようなリーダーシップを発揮することが出来ていない状況の中で、せめても、「民主党、もっと頑張らなくては。」という声を、聴きました。

イラウいのばいいます 国会は、25日から始まります。衆議院の予算委員会が2月いっぱいには続く予定で、その争点は、社会の格差。過疎自治体や地方都市の荒廃だけでなく、若い世代の雇用格差や子供達の受験競争の経済格差、老人世代の国民年金破綻による生活保護への依存の現状など、そのまま放置すれば、日本の社会が大きく揺らぎ、これまでの安定した公平な社会でなくなる恐れがある小泉政治を引き継ぐ安部政権の政治の失敗を徹底的に追及する事だと思っています。

予算委員会に続く3月頃からの前半の焦点は、憲法関連の「国民投票法案」の裁決です。安部総理は、憲法の問題をクローズアップさせて、終盤の国会まで争点化し、7月の参議院選挙を「憲法」で戦おうという魂胆です。国民投票は必要な法案だと言うことは、民主党の思いでもあります。去年から今年にかけて、憲法調査会でも中味のある議論を続け野党案を与党がほぼ丸呑みする形で合意に近づいています。にもかかわらず、安部総理が、これを憲法問題の対決法案だと演出して、参議院の争点にしようと目論んでいるとすれば、警戒しなければなりません。私達は、今度は、「そんな手には、のらないよ。」ということです。参議院の争点は、国民生活に根ざした「ストップ ザ 格差。」です。

○民主党ローカルマニフェスト

4月の統一地方選挙を目指して三重県の民主党ローカルマニフェストの原案が出来ました。県議団、市議団の熱心な思い入れが反映されています。医療分野では、僻地医療のためのドクタープール制。重症患者緊急搬送のヘリコプター(フライングドクター)導入、県立癌センターの設立など。行政改革や分権では、5%の人件費削減、住民自治基本条例の策定など。教育福祉子育てでは、コミュニティスクールの積極導入や障害者自立支援法の自己負担部分の削減、育児休暇の産休なみ休業補償などが目玉になっています。県議会で第一党の勢力を有する「新政みえ」のメンバーが中心になってつくったマニフェストですから、これから4年間で、実現する具体策だということです。

日々の生活で、安心感や将来への具体的なビジョンが実感できるとすれば、それは、身近な市や県の行政がそれぞれの問題に対してはつきりとした政策を持っているかどうかにかかっています。民主党の三重県マニフェスト。国より一歩先を歩く姿が大事だと思っています

○新年の集い、10周年の感謝を込めて

国会に送っていただいてから、お蔭様で10年になります。世界が大きく変革していく中で、日本が自分の頭と心で考え、新しい日本の生き様と役割を発信していけるような日本の政治でありたい。そのための効率的な政府への大改革、二大政党制の実現、地方の力がのびのびと発揮できるネットワーク型の成熟した分権社会などなど、理想を求めて、本当にのびのびとチャレンジできた事。いつも、暖かくご支援いただき、且つ、厳しく育てていただいた皆さんのお蔭です。

1月20日(土)。午前11時より四日市の都ホテルで、感謝の気持ちを込めた新年の会を開きます。当日の飛び込み参加も大歓迎です。